

平成23年度

教育委員会事務局

運営方針

目次

| | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 教育委員会事務局運営の総括表 | 1 |
| 2 | 平成23年度重点取組の概要 | 2 |
| 3 | 平成23年度予算の概要 | 10 |

平成23年度教育委員会事務局運営の総括表

| 基本方針・重点方針 | 平成23年度重点取組 | | | | 平成22年度重点取組 | |
|-------------------------------|--|--|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| | 取組名 | 目標 | 計画・条例等 | 所属等 | 取組名 | 実績 |
| 開かれた学校づくりと市民との共汗で進める教育改革 | 1 「学校運営協議会」の設置拡大・取組の充実 | 180校・園に拡大 | 京都未来まちづくりプラン | 学校指導課 | 「学校運営協議会」の設置拡大・取組の推進 | 172校・園に設置 |
| | 2 「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」の普及・推進 | 条例の周知，推進協議会の設置及び行動指針の策定・実践 | 子どもを共に育む京都市民憲章 | 生涯学習部 | 「子どもを共に育む京都市民憲章」を推進する条例の制定 | 条例の制定 |
| | 3 地域住民・保護者との共汗で進める学校統合及び新しい学校づくり | 凌風小中学校及び東山区南部地域小中一貫校の開校準備 | 地元からの要望を尊重 | 調査課，教育環境整備室，学校統合推進室 他 | 地域住民・保護者との共汗で進める学校統合及び新しい学校づくり | 開晴小中学校を開校 |
| 確かな学力向上対策の推進 | 4 京都市学習支援プログラムの実施 | 全小・中学校での「プレジョイントプログラム」「ジョイントプログラム」「学習確認プログラム」の実施 | 新学力向上アクションプラン | 学校指導課 | 京都市学習支援プログラムの実施 | 全小・中学校での「ジョイントプログラム」「学習確認プログラム」の実施 |
| | 5 土曜学習の実施 | 全小中学校での実施 | 京都未来まちづくりプラン | 学校指導課 | 土曜学習の実施 | 全小学校及び中学校68校で実施 |
| | 6 新教育課程推進プランの推進 | 中学校指導計画（京都スタンダード）の作成 | 新教育課程推進プラン | 学校指導課 | 新教育課程推進プランの推進 | 小学校指導計画（京都スタンダード）の作成 |
| | 7 ICT教育の推進 | ICTの効果的な活用の推進，情報モラル教育の徹底 | | 情報化推進総合センター | ICT教育の推進 | 授業におけるICT活用時間数の増加 |
| 創造的で個性豊かな子どもの育成 | 9 環境教育・理科教育の推進 | 全校実施の継続 | 京都未来まちづくりプラン | 教育環境整備室，学校指導課 | 環境教育の推進 | 環境教育スタンダードの作成，エコライフチャレンジ全小学校で実施 |
| | 10 「新・京都市子ども読書活動推進計画」の推進 | 取組の充実 | 京都未来まちづくりプラン | 生涯学習部・学校指導課，中央図書館 | 「新・京都市子ども読書活動推進計画」の推進 | 年間100冊読破児童が2万人達成 |
| | 11 京都モノづくりの殿堂事業の推進 | 体験学習実施校の拡大 | 京都未来まちづくりプラン | 京都まなびの街生きた方探究館 | 京都モノづくりの殿堂事業の推進 | 52校3,108名が活動 |
| 心身ともに健全でたくましい子どもの育成 | 12 長期宿泊・自然体験推進事業の実施 | 全小学校での本格実施 | 京都未来まちづくりプラン | 花背山の家 | 長期宿泊・自然体験推進事業の実施 | 156校で実施 |
| | 13 ケータイ・インターネットをはじめとする有害環境から子どもたちを守る取組 | 取組の充実 | 子どもを共に育む京都市民憲章実践推進条例 | 学校指導課・生徒指導課・情報化推進総合センター・生涯学習部 | ケータイ・インターネットをはじめとする有害環境から子どもたちを守る取組 | ケータイ教室他啓発講座155回開催，業者委託によるネット監視6回実施 |
| | 14 市内105団体が参画する人づくり21世紀委員会と連携した子どもの健全育成 | 「子どもを共に育む未来づくり教育フォーラム」の開催 等 | | 生涯学習部 | | |
| | 15 子どもたちの規範意識を育むための取組 | 取組の推進 | | 学校指導課，生徒指導課，生涯学習部，総合教育センター | | |
| | 16 不登校児童生徒の自立・登校に向けた指導支援の充実 | 「ふれあいの杜」や洛風・洛友中学校等の活動展開，専門家の配置 | | 生徒指導課，教育相談総合センター | | |
| | 17 健康教育・子どもの体力向上推進 | 薬物乱用防止教室の全中学校・高校での実施，「大文字駅伝」大会の充実 等 | | 体育健康教育室 | | |
| 障害のある子どもへの教育の推進 | 18 総合支援学校の児童・生徒増対策，新学習拠点整備，職業教育の充実 | 総合支援学校の児童・生徒増対策及び新学習拠点の整備 | 総合育成支援課，白河総合支援学校分校開設準備室，教育環境整備室 | 総合支援学校の新たな学習拠点整備 | 高等部職業学科等の定員拡大 | |
| 魅力あふれる高校づくりの推進 | 19 特色ある高校づくりの推進 | 市立高校改革の更なる推進 | 京都未来まちづくりプラン | 学校指導課 | 特色ある高校づくりの推進 | 京都堀川音楽高校移転・開校 |
| 子育て支援の充実 | 20 「子どもを共に育む『親支援』プログラム」の推進，青少年のための「親学習」プログラム策定 | プログラム実施の拡大 等 | 京都みらい子どもプラン | 生涯学習部，こどもみらい館 | 「子どもを共に育む『親支援』プログラム」の推進 | 「『親支援』プログラム」の本格実施，77名を支援者として認定 |
| 子どもたちがいきいきと学べる安心安全で特色ある教育環境整備 | 21 環境にやさしい新しい学校づくり推進 | 省エネに配慮した学校の長寿命化，学校エコ改修 | | 教育環境整備室 | 学校施設の耐震化事業の推進 | 100%完了（統合予定校等以外） |
| | 22 児童・生徒数増加に伴う学校増改築事業 | 増改築工事の実施 | | 教育環境整備室 | | |
| 生涯学習の推進 | 23 生涯学習ネットワークの充実 | 生涯学習市民フォーラム加盟団体の拡大等 | | 生涯学習部 | 生涯学習ネットワークの充実 | 生涯学習市民フォーラムの加盟団体の拡充（178団体） |
| | 24 生涯学習総合センター・中央図書館開館30周年記念事業 | 記念事業の実施 | | 生涯学習総合センター，中央図書館 | | |
| | 25 図書館サービスの充実 | 貸出し冊数，利用者の増 | | 京都市立図書館 | 図書館サービスの充実 | 地下鉄駅の図書返却ポストの増設（1ヶ所） |

平成23年度重点取組の概要

開かれた学校づくりと市民との共汗で進める教育改革

1 「学校運営協議会」の設置拡大・取組の充実

＜学校指導課小中一貫教育・学校運営企画担当＞

地域や保護者の方々の具体的な参画により、学校の応援団として、子どもたちのために共に汗をかいていただく、京都方式の学校運営協議会の設置拡大・取組の充実を図ります。

取組目標

・180校・園に設置

前年度の取組成果

・172校・園に設置（全国最多）

2 「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」の普及・促進

＜生涯学習部家庭地域教育支援担当＞

子どもを健やかに育むための市民共通の行動規範である「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念が市民生活の隅々にまで浸透し、社会のあらゆる場において実践行動の輪が広がることを目指した条例の制定をうけ、すべての子どもを健やかに育むまち・京都の実現を目指します。

取組目標

・憲章条例の周知、推進協議会の設置及び行動指針の策定・実践

前年度の取組成果

・条例の制定

3 地域住民・保護者との共汗で進める学校統合及び新しい学校づくり

＜調査課、凌風小中学校開設準備室、教育環境整備室、学校統合推進室、

東山区南部小中一貫校開設準備室＞

子どもたちのより良い教育環境の実現を目指し、保護者・地域と行政との「共汗」により、行政としての説明責任を徹底する中で、保護者・地域による論議・検討を尊重する、『地元主導』による学校統合を推進します。また、地元との協議を重ねながら校舎建設や教育内容の企画をはじめ、様々な取組を推進します。

取組目標

・凌風小中学校：24年4月統合・開校予定

・東山区南部小中一貫校：26年4月統合・開校予定

前年度の取組成果

・開晴小中学校：23年4月統合・開校

・凌風小中学校：新校舎建設工事着工、教育内容の検討等

・東山区南部小中一貫校：新校舎建設ワークショップの開催、新校舎基本計画策定等

確かな学力向上対策の推進

4 京都市学習支援プログラムの実施

＜学校指導課小中一貫教育・学校運営企画担当＞

児童・生徒が、定期的な確認テストと予復習教材によって、学校での学習内容を計画的に総復習し、自学自習の習慣化を図ることにより、基礎基本の学習内容の定着、児童・生徒一人一人の確かな学力の向上を図ります。小・中学校間でそうした課題を共有し、義務教育9年間を通じて指導方法の工夫・改善を進めます。

取組目標

- ・小学校3・4年での「プレジョイントプログラム」の実施
- ・小学校5年～中学校1年での「ジョイントプログラム」の実施と取組の充実
- ・中学校での「学習確認プログラム」の教材等の改善と取組の充実

前年度の取組成果

- ・小学校5・6年での「ジョイントプログラム」の実施と取組の充実
- ・小学校の総まとめとなる「ジョイントプログラム」を中学校1年生で実施
- ・中学校各学年での「学習確認プログラム」の実施と取組の充実

5 土曜学習の実施

＜学校指導課事業推進担当＞

土曜日、日曜日等に、保護者や地域、学生ボランティア等の協力の下、「確かな学力」の育成を図る学習活動や、自然体験、伝統文化体験、生活体験など、創意工夫あふれる学びの場を提供することにより、子どもたちの学ぶ意欲の向上や、基本的な学習習慣の確立を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます。

取組目標

- ・小中学校全校での実施

前年度の取組成果

- ・全小学校及び中学校 68 校で実施

6 新教育課程推進プランの推進

＜学校指導課事業推進担当＞

教員の指導力向上と、一人一人の子どもへのきめ細やかな授業の展開を図るため、24年度から中学校で全面実施となる新学習指導要領及び新しい教科書に即する本市独自の各教科・領域の詳細な指導計画（京都市スタンダード）を作成します。

取組目標

- ・中学校指導計画（京都市スタンダード）の作成

前年度の取組成果

- ・新学習指導要領実施等に即する小学校指導計画（京都市スタンダード）の作成

7 ICT教育の推進

＜情報化推進総合センター＞

全市立学校の普通教室へのインターネットにつながるコンピュータやデジタルテレビの設置、全市立小中学校への電子黒板の導入など全国トップレベルの

ICT 教育環境を活用し、学力向上に向けた授業改善に取り組むとともに、子どもたちの情報活用能力の育成を進めます。

取組目標

- ・ICT の効果的な活用の推進
- ・情報モラル教育の徹底

前年度の取組成果

- ・授業における ICT 活用時間数の増加（21 年度比 2.2 倍）

8 教員の資質・指導力向上，教職員評価 <教職員人事課・総合教育センター>

教職員評価システムの活用や今日的課題を的確に踏まえた研修，さらに「授業づくり」に役立つ指導案等を豊富に備えた「カリキュラム開発支援センター」の活用等を通して授業力をはじめとする教員としての資質向上を図ります。また，教職員の活躍や貢献を積極的に認め，給与に反映するための評価制度（査定評価）の構築を進めます。

取組目標

- ・査定評価制度の構築に向けた取組の推進
- ・教員の専門性や指導力の更なる向上を目指した研修の実施と研究活動の支援
- ・カリキュラム開発支援センター資料のデジタル配信

前年度の取組成果

- ・全ての職種に対して「教職員評価システム」を実施
- ・査定評価制度の構築に向けた第 1 次試行の実施

創造的で個性豊かな子どもの育成

9 環境教育・理科教育の推進

<教育環境整備室，学校指導課事業推進担当，青少年科学センター>

家庭・地域や大学，企業，NPO等との連携により，「環境モデル都市」を担う子どもたちの環境に対する感性を培い，環境の保全や問題解決に向けて行動する態度を育成するため，教育活動を通して環境に関する学習を展開します。また，理解大好きな子どもを育むため，大学，企業，NPO等の協力も得ながら，授業や科学センター学習，各種事業の充実を図ります。

取組目標

- ・環境教育スタンダードの作成（中学校）
- ・「U-15（アンダーフィフティーン）サイエンティスト養成事業」の実施
- ・科学センター内に「子育て親子ふれあいセンター（仮称）」の整備

前年度の取組成果

- ・KES 学校版「環境にやさしい学校」260 校（全小・中学校，総合支援学校 6 校）認定
- ・こどもエコライフチャレンジ推進事業 177 校（全小学校）実施
- ・環境教育スタンダードの作成（小学校）

10 「新・京都市子ども読書活動推進計画」の推進

＜生涯学習部家庭地域教育支援担当，学校指導課，中央図書館＞

「本」大好きな子どもを社会全体で育むため、「新・京都市子ども読書活動推進計画」（計画期間：平成21年度～25年度）を着実に推進し，学校・家庭・地域連携の下，子どもの読書活動のさらなる充実に向けて取組を進めます。

取組目標 ※計画最終年度（平成25年度）の目標

- ・京都市図書館所蔵図書为学校への年間団体貸出冊数 40,000 冊
- ・京都市図書館の児童への貸出冊数 180 万冊 等

前年度の取組成果

- ・1年間に100冊以上の本を読む子ども2万人達成 25,368人
- ・京都市図書館所蔵図書为学校への年間団体貸出冊数 21,910冊
- ・京都市図書館の児童への貸出冊数 154万冊

11 京都モノづくりの殿堂事業の推進＜京都まなびの街生き方探究館企画推進室＞

産学公連携の下，生き方探究館内に設置した，京都の企業創業者等の情熱や努力を紹介する「京都モノづくりの殿堂」と，モノづくりの体験学習を行う「工房」において，市立小学校の4～6年生が学校教育活動の中で展示・体験学習を行い，子どもたちが自らの生き方を考え，生きる力を育むことを目指します。

取組目標

- ・前年度を超える市立小学校で殿堂と工房を活用した体験学習を実施
- ・現行の殿堂・工房学習プログラム数（10）を増やし，学習内容の充実を図る。
- ・モノづくり学習支援員を増員し支援内容の充実を図る。

前年度の取組成果

- ・市立小学校52校3,108名が体験学習を実施
- ・体験活動の更なる充実を図るため，「モノづくり第2工房」を開設
- ・京モノレンジャーの活動開始（登録者75名，延活動人数223名）

心身ともに健全でたくましい子どもの育成

12 長期宿泊・自然体験推進事業の実施

＜花背山の家＞

連続1週間程度の宿泊体験活動を通して，子どもたちに自然や生命を大切にする心や，環境保全に寄与する態度を養うとともに，仲間意識や責任感，規範意識など豊かな人間性や社会性を育むことを目的に小学校5年生で実施します。

取組目標

- ・全小学校での本格実施

前年度の取組成果

- ・156校で本格実施

13 ケータイ・インターネットをはじめとする有害環境から子どもたちを守る取組

＜学校指導課，生徒指導課，情報化推進総合センター，
体育健康教育室，生涯学習部家庭教育支援担当＞

「小中学生の健やかな育ちには原則としてケータイは必要ない」との基本方針のもと，PTA，校長会，警察，携帯電話会社等が参画する「子どもの『携帯』利用に関する連絡会議」と連携し，ケータイ・インターネットに潜む有害環境から子どもを守る取組を推進します。また，「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」の施行をうけ，関係機関と連携して，薬物，虐待，AIDS，児童ポルノ等，子どもを取り巻く喫緊の課題に社会総がかりで取り組みます。

取組目標

- ・ ネットパトロールのシステム構築の継続
- ・ 携帯電話市民インストラクターによる啓発講座の拡大（40回）
- ・ 児童生徒向けケータイ教室の開催（110校）

前年度の取組成果

- ・ 携帯電話市民インストラクターによる啓発講座，児童・生徒向けケータイ教室の実施（計155回）
- ・ 関係機関と連携した児童ポルノの規制強化への取組

14 市内105団体が参画する人づくり21世紀委員会と連携した子どもの健全育成

＜生涯学習部＞

平成10年の発足以来，教育や保育，青少年健全育成団体はもとより，女性，医療，福祉，文化，スポーツ・経済等の幅広い市民団体が参画する人づくり21世紀委員会と連携し，子ども一人一人が健やかに育つことのできる社会づくりを推進します。

取組目標

- ・ 「子どもを共に育む未来づくり教育フォーラム」の開催
- ・ 各行政区での「中学生と大人との語り合い」等特色ある取組の推進
- ・ 「子どもを共に育む市民憲章」の普及促進に向けた実践活動の推進

15 子どもたちの規範意識の向上

＜生徒指導課，学校指導課，生涯学習部，総合教育センター＞

子どもの規範意識を育むため，保護者，市民団体，学校及び行政機関が連携し様々な取組を展開します。

取組目標

- ・ 子どもの問題行動の防止及び学習規律の維持の徹底による学力向上の観点も踏まえた，子どもの「規範意識」の育成

16 不登校児童生徒の自立・登校に向けた指導支援の充実

＜生徒指導課，教育相談総合センター＞

不登校児童生徒が，学校へ登校することをはじめ，社会的自立を果たすよう，指導支援体制の充実を図ります。

取組目標

- ・「ふれあいの杜」や洛風・洛友中学校など，不登校を経験した子どもの学びと育ちを促進する活動展開
- ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの専門家による指導支援の充実

17 健康教育・子どもの体力向上推進

＜体育健康教育室＞

望ましい生活習慣の確立，食育，保健指導，むし歯予防，薬物乱用の根絶に向けた取組，また，児童生徒の体力向上を目指した取組を推進します。

取組目標

- ・エイズ教育の充実，薬物乱用防止教室の全中学校・高校での実施
- ・小学校「大文字駅伝」大会の充実，小・中・高運動部活動の推進

障害のある子どもへの教育の推進

18 総合支援学校の児童・生徒増対策，新学習拠点整備，職業教育の充実

＜総合育成支援課，白河総合支援学校分校開設準備室，教育環境整備室＞

総合支援学校の児童・生徒の増加に対応するとともに，教育活動のさらなる拡充を図るため，新学習拠点の整備や校舎の増改築等の取組を進めます。

また，総合支援学校高等部職業学科の一層の拡充を目的として，白河総合支援学校の分校開設に向けた取組を進めます（平成 25 年度開校予定）。

取組目標

- ・白河総合支援学校分校の開設準備
- ・北・西総合支援学校新校舎増築及び北・鳴滝総合支援学校新学習拠点開設準備

前年度の取組成果

- ・白河・鳴滝総合支援学校高等部職業学科の定員拡大(60名→72名)
- ・白河・鳴滝総合支援学校高等部職業学科の企業就職内定 100%(4年連続)
- ・白河総合支援学校福ノ川校舎の整備

魅力あふれる高校づくりの推進

19 特色ある高校づくりの推進

＜学校指導課高校教育担当＞

生徒や保護者，地域社会のニーズに応える魅力あふれる高校教育の充実・改善に取り組み，生徒一人一人に豊かな人間性・社会性を育むとともに進路希望（進学・就職）の実現を図ります。

取組目標

- ・市立高校改革の更なる推進

前年度の取組成果

- ・京都堀川音楽高校移転・開校
- ・普通科系5校における4年制大学現役進学率61.6%
- ・工業高校2校における学校斡旋就職内定率100%（9年連続）

子育て支援の充実

20 「子どもを共に育む『親支援』プログラム」の推進、青少年のための「親学習」

プログラム策定 <生涯学習部家庭地域教育支援担当，こどもみらい館事業課>

妊娠中の方から思春期までの子どもを持つ保護者を対象に，親としての心構えや必要な知識・技術等を子どもの発育・発達段階に応じて学べる「親支援プログラム～ほっこり 子育て ひろば～」を保健センター，児童館，保育所（園），幼稚園，小・中学校等で実施し，子育てにおける不安感や孤立感の軽減を図ります。

これに加え，これから親になる青少年を対象に，乳幼児とのふれあいを含め，親としての心構えや知識等を学べるプログラムを新たに策定していきます。

取組目標

- ・「ほっこり 子育て ひろば」の実施（300回）
- ・青少年のための「親学習」プログラムの検討

前年度の取組成果

- ・「ほっこり 子育て ひろば」の実施（224回，3,382名参加）
- ・プログラムの進行役となる支援者の養成（77名）

子どもたちがいきいきと学べる安心安全で特色ある教育環境整備

21 環境にやさしい新しい学校づくり推進

<教育環境整備室>

学校施設の長寿命化を図る改修等と，外壁・屋上・窓の断熱化や照明の高効率化，内装の木質化等を同時に行い，環境負荷の低減を図るとともに，改修した学校を教材に環境教育の実践を目指します。また，朱雀第四小学校をモデル校として，学校を核とする地域ぐるみの環境教育の展開を目指す「学校エコ改修と環境教育事業」を進めます。

取組目標

- ・学校施設の長寿命化を図る改修等を実施
- ・学校エコ改修による校舎の改修工事の実施（朱雀第四小学校）

前年度の取組成果

- ・学校エコ改修に係るプロポーザル審査による設計受託者の決定と設計の実施

22 児童・生徒数増加に伴う学校増改築事業

＜教育環境整備室＞

児童・生徒数の増加に伴い、増改築工事を実施します。

取組目標

- ・神川小・中学校・京都御池中学校増築工事，八瀬小学校体育館整備着手等

生涯学習の推進

23 生涯学習ネットワークの充実

＜生涯学習部生涯学習推進担当＞

生涯学習関係団体のネットワーク組織「京都市生涯学習市民フォーラム」による活動の充実を図るなど，京都ならではの学習資源や多様な学習機会・情報を結び付け，市民の誰もが生涯にわたり学び続けることのできる環境づくりを進めます。

取組目標

- ・生涯学習市民フォーラムの加盟団体の拡充，シンポジウムの開催

前年度の取組成果

- ・加盟団体を 178 団体（6 団体増）に拡充
- ・シンポジウム「京の学びで明日を創る～『学術都市・京都』の未来像～」の開催

24 生涯学習総合センター・中央図書館開館30周年記念事業

＜生涯学習総合センター・中央図書館＞

生涯学習総合センター・中央図書館は，京都ならではの歴史と文化を生かした生涯学習の拠点として開館して以来，各種講座・講演会の開催・展示・図書館事業など多彩な取組を進め，多くの市民に親しまれてきました。平成23年4月で30周年を迎え，より多くの市民に学びの楽しさや素晴らしさを発信し，さらに学びの輪を広げていくことを目的として，記念事業を実施します。

取組目標

- ・「古典の日」事業「古典の祭典2011」と一体化した，文化祭や記念式典の開催
- ・「京都」「学びの大切さ」をテーマとする特別講座など記念事業の開催

25 図書館サービスの充実

＜京都市立図書館＞

市立図書館では，全図書館をネットワーク化し，インターネット予約サービスをはじめとした利便性の向上を図る取組を進めてきました。今後とも，サービスの充実を図り，貸出し冊数，利用者数の増に向けた様々な取組を進めます。

取組目標

- ・貸出し冊数，利用者数の増

前年度の取組成果

- ・貸出し冊数 792 万冊，利用者数 432 万人
- ・地下鉄烏丸線北大路駅（南改札口付近）への図書返却ポストの設置

平成23年度 京都市教育予算

【予算規模】

| 項 目 | 23年度 | 22年度 | 増△減 | 前年比 | |
|-------|------------|------------|------------|------------|--------|
| 教 育 費 | 463億3900万円 | 501億1600万円 | △37億7700万円 | △7.5% | |
| 内 訳 | 学校等運営費 | 159億5824万円 | 162億5022万円 | △2億9198万円 | △1.8% |
| | 建物等施設整備費 | 106億1376万円 | 125億778万円 | △18億9402万円 | △15.1% |
| | 人件費 | 197億6700万円 | 213億5800万円 | △15億9100万円 | △7.4% |

※平成22年度予算と比べ、学校施設耐震化推進8ヵ年計画に係る事業費の減（△18億2000万円）や、開晴小中一貫校整備事業費の減（△23億900万円）など、大規模事業の完了等に伴う減となっている。

【予算の特色】

平成23年度京都市予算は、極めて厳しい財政状況のもとではあるが、最終年度となる「京都未来まちづくりプラン」を着実に推進し、さらに今後10年間の市政の基本計画である「はばたけ未来へ！京^{みやこ}プラン」に掲げた京都の未来像を実現するための経費に、財源が重点配分された。

教育委員会では、全市的課題である平成23年度までの財源不足の解消と、さらなる教育改革を推進するための財源捻出のため、全ての事業の必要性や効果、効率性等をゼロベースから徹底して点検するとともに、退職不補充による人件費削減、PFI手法の活用など、聖域のない見直しを図ったところである。

こうして捻出した財源をもとに、**全ての子どもに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育**のさらなる充実に向け、全国初の市独自予算による小・中学校における少人数学級の実施、土曜学習の全校実施、学力向上プラン等による**学力向上**、1週間程度の長期宿泊・自然体験活動等による**豊かな人間性**の育成、学校評価システムの充実や学校運営協議会設置校のさらなる拡大、放課後まなび教室の全小学校区設置、教育活動のあらゆる分野へのボランティアの参画などの**開かれた学校づくり**を、京都ならではの独自の方式で積極、果敢に推進する。さらに、耐震補強完了後の学校施設について、環境にやさしい新しい学校施設への改修等に着手するなど、**全市的な学習環境の充実**を進める。

この予算を最大限活用し、市民の皆様と共に汗する「^{きょうかん}共汗」で、「一人一人の子どもを徹底的に大切に**する**」教育を推進し、全国をリードする教育改革をより一層強力に進める。